令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22076	事業名	中学校全員喫食制給食実施事業		評価分類	B1		
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()					担当部署		
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実			予 算 科 目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実				款	10:教育費	
		施策の方向	02:豊かな学びを支える教育環境の充実				項	03:中学校費	
重点プロジェクト	04:「未来へのピラ」プロジェクト			目	01:学校管理費				
事業期間	R 4 年度 ~ R 7 年度		主な根拠法令等	-					

担当部署	
部	教育委員会事務局
課	教育総務課 教育総務G・保健給食G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	亀山中学校・中部中学校においては、現在、弁当またはデリバリー給食の選択制としているが、家庭環境の多様化や生徒間の公平性を考慮し、全員喫食制給食の早期実現を進める必要がある。	亀山中学校及び中部中学校に在籍する生徒及び教職員	亀山中学校及び中部中学校において、全ての生徒が同じ給食と一緒に食べることができる体制を整える。	亀山中学校及び中部中学校における全員喫食制給食の実施に向け、外部調理委託による食缶搬入方式の体制を整えとともに、中学校2校の給食受け入れ環境の整備を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○建設地、運営方法等の検討・決定	○敷地整理・インフラ調整 ○用地測量 ○設計業者選定 ○埋蔵文化財調査	○外部調理委託業者選定 ○2中学校配膳室等整備工事設計	○2中学校配膳室等整備工事 ○埋蔵文化財調査 ○配膳室備品購入		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	給食調理施設の建設候補地、調理能力、施設規模、事業手法について、教育委員会において9回にわたり検討を重ね、課題を整理した。しかし、必要面積、法規制やインフラ等の立地条件を満たす候補地がなく、また、物価高騰及び事業内容精査により事業費が増加し、財源確保が困難となる見通しから、建設地・事業手法の決定に至らなかった。	昨年度の検討結果を受けて、財政面及び用地確保の課題から、事業手法等を含め再調査・再検討を実施した。結果、引き続き給食調理施設の整備による給食実施を目指しつつも、現段階においては外部調理委託による食缶搬入方式での給食実施を行うことと手法を変更し、その内容を以て、令和5年11月に「中学校全員喫食制給食実施に係る基本的な計画」を策定した。				
計画額	事業費		0千円	1,200千円	0千円	21,700千円	234,000千円
	国・県支出金		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円	16,000千円	160,000千円
	その他		0千円		0千円		
	一般財源		0千円	1,200千円	0千円	5,700千円	74,000千円
決算額	事業費		0千円		0千円		
	国・県支出金		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円		
	その他		0千円		0千円		
	一般財源		0千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)		256,900千円		②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	256,900千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	0千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	外部調理委託業者の選定	成果		計画値 実績値			完了	
	2中学校配膳室整備工事	成果		計画値 実績値				完了
		成果		計画値 実績値				

進捗度合 (C)	評価理由
B	令和5年11月に策定した「中学校全員喫食制給食実施に係る基本的な計画」に基づき、事業計画を見直した上で、そのスケジュールに沿って、外部調理委託の業者選定手続き(選定委員会要綱の策定手続き、業務委託仕様書案の作成)、必要予算の計上等を実施した。
概ね計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
亀山中学校及び中部中学校に在籍する生徒及び教職員	亀山中学校及び中部中学校において、全ての生徒が同じ給食を一緒に食べることができる体制を整える。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の進捗度合を踏まえた課題事項
	中学校における全員喫食制給食の開始に向けて、「中学校全員喫食制給食実施に係る基本的な計画」に基づく給食の実現のため、その内容を網羅した仕様書を作成し、外部調理委託の業者選定を速やかに行う必要がある。 また、亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置について、学校運営や、生徒及び業者による給食配送等、様々な状況を把握しつつ、適切な設置箇所等について検討・決定する必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性				
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する				
	改善・見直し内容				
	<table border="1"> <tr> <th>令和6年度で対応する(した)もの</th> <th>令和7年度以降で対応するもの</th> </tr> <tr> <td>公募型プロポーザル方式により外部調理委託の業者選定及び業務委託の締結を行うとともに、亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置に係る設計業務を行う。</td> <td>亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置工事の実施に併せて、工事に付随する監理業務委託、地質調査等も実施する。 また、令和8年度からの給食実施に向け、配膳室等に必要な備品購入等を行う。</td> </tr> </table>	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの	公募型プロポーザル方式により外部調理委託の業者選定及び業務委託の締結を行うとともに、亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置に係る設計業務を行う。	亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置工事の実施に併せて、工事に付随する監理業務委託、地質調査等も実施する。 また、令和8年度からの給食実施に向け、配膳室等に必要な備品購入等を行う。
令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの				
公募型プロポーザル方式により外部調理委託の業者選定及び業務委託の締結を行うとともに、亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置に係る設計業務を行う。	亀山中学校及び中部中学校における配膳室等設置工事の実施に併せて、工事に付随する監理業務委託、地質調査等も実施する。 また、令和8年度からの給食実施に向け、配膳室等に必要な備品購入等を行う。				

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		B		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	教育委員会事務局 教育総務課 教育総務GL中野 貴晶 保健給食GL 渡邊 尚也
最終評価者	教育委員会事務局 教育総務課長 麻生 俊哉